

臨床放射線

編集委員

今井 裕
後閑 武彦
栗原 泰之
橋本 順
森 壘
中村 和正

編集協力委員

畠中 正光
小川 恭弘
松永 尚文
森 宣
村田喜代史

編集後記

▶今月号の特集は「薬剤関連顎骨壊死の画像診断 up to date」です。骨と結合して破骨細胞のアポトーシスを誘導し骨吸収抑制作用を示すビスホスホネート (bisphosphonate: BP) による顎骨壊死は、BP 製剤関連顎骨壊死 (BP-related osteonecrosis of the jaw: BRONJ) として一躍、市民権を得ました。一方、異なる機序で骨吸収抑制作用を示す抗 RANKL (receptor activator of nuclear factor κ B ligand) 抗体のデノスマブ (denosumab) でも顎骨壊死を起こすことがあり、デノスマブ関連顎骨壊死 (denosumab-related ONJ: DRONJ) と呼ばれます。これら2種類の薬剤は作用機序が異なるものの、同様な病態を引き起こすため、合わせて骨吸収抑制薬関連顎骨壊死 (anti-resorptive agents-related ONJ: ARONJ) と名付けられました。ところが、さらには血管新生阻害薬としてチロシンキナーゼ阻害薬、抗 VEGF (vascular endothelial growth factor) ヒトモノクローナル抗体や mTOR (mammalian target of rapamycin) 阻害薬でも顎骨壊死を起こすことがわかったため、概念の拡張を余儀なくされ、骨吸収抑制薬のみならず血管新生阻害薬を含めて薬剤関連顎骨壊死 (medication-related ONJ: MRONJ) と総称されることになりました(土持論文)。つまり数年で B→A(=B+D)→M-RONJ と名辞が目まぐるしく変化しており、ついていくほうも大変なのです。薬理作用の異なる薬剤が同様な病態を引き起こすことから、口腔におけるインターフェイスとしての特殊な環境や、口腔内細菌の存在が、その発生機序に大きく関わっていると考えられます。ただし、やはり原因となる薬剤により結果となる顎骨壊死の状態は多少異なり、静注 BRONJ は頬・舌側骨皮質欠損を示す一方で、DRONJ では骨膜反応や大きい腐骨を認めることが多いなどの傾向があるようです(馬場論文)。難治性を示す MRONJ の活動性評価は、形態画像や血液検査のみでは難しく、機能画像である核医学検査を用いた評価が有用です(北川論文)。また、転移検索の核医学検査で顎骨に異常集積を認めた場合、MRONJ も鑑別する必要があります(渡辺論文)。このような顎骨の悪性腫瘍と炎症性疾患との鑑別には形態画像と機能画像を含めた総合的な評価が有用です(小椋論文)。薬剤長期投与による顎骨への影響の評価にも核医学検査は優れています(大林論文)。

▶今月の症例では、肝細胞癌と類似する多血性腫瘍であっても、肝静脈を流出路としている場合は肝血管筋脂肪腫を想起する鑑別点となることを強調しています(西村論文)。

▶毎回、同じ思いを開陳して申し訳ありませんが、何度でも記します。投稿や症例を大切に「臨床放射線」は特異な編集方針を持つ稀有な雑誌であり、今後も皆様の活発なご投稿によって一緒に盛り立てて頂ければと切に願います。

森 壘

「臨床放射線」第 63 巻 第 10 号

2018 年 10 月 10 日発行 (毎月 10 日発行)

定価 (本体 2,600 円 + 税)

年間購読料金 定価 (本体 39,700 円 + 税)

[年間 13 冊 (臨時増刊号を含む) の誌代]

年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03 (3811) 7165 編集部直通

TEL 03 (3811) 7184 営業部直通

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社

広告申込先 福田商店 TEL 06 (6941) 5600

FAX 06 (6941) 5605

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail:info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。